

観光とデザイン

選 択

開講年次：3 年次後期

科目区分：演 習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：多様な側面を持つ「観光」を「デザイン」の視点からとらえ、地域再生という新たな課題に対する「観光」の役割や意義を考察する。自然・歴史・文化・生活・産業など、地域特性や資源を再確認し、地域の魅力を引き出す方法を学ぶとともに、グループ演習や課題制作、プレゼンテーションを通して企画立案の実践的方法論を身につける。演習では、札幌を対象とした観光ツアーの企画や観光地の改善計画等に取組む。

■**到達目標**：①「観光」や「ツーリズム」に係る基礎知識の習得
②資料やフィールドサーベイによる、まちや地域資源の発見能力の習得
③グループディスカッションやプレゼンテーション技能の習得

■**担当教員**：

大島 卓

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション（ガイダンス）
- 第 2 回 観光の全体像（観光の定義、歴史）
- 第 3 回 観光の全体像（北海道観光の近年の動向）
- 第 4 回 グループ演習（観光のツアー企画と商品化：課題設定・ディスカッション）
- 第 5 回 グループ演習（観光のツアー企画と商品化：ディスカッション・提案のとりまとめ）
- 第 6 回 グループ演習（発表）
- 第 7 回 文化遺産と観光デザイン①
- 第 8 回 文化遺産と観光デザイン②
- 第 9 回 札幌市内の観光地の現状と課題①
- 第10回 札幌市内の観光地の現状と課題②
- 第11回 グループ演習（観光地の改善計画：課題設定）
- 第12回 グループ演習（観光地の改善計画：ディスカッション）
- 第13回 グループ演習（観光地の改善計画：ディスカッション・提案のとりまとめ）
- 第14回 グループ演習（発表）
- 第15回 まとめ

■**教科書**：授業時に適宜ハンドアウトを配付します。

■**参考文献**：『観光の地域ブランディング ―交流によるまちづくりのしくみ―』敷田麻美ほか（学芸出版社）、『生きている文化遺産と観光 住民によるリビングヘリテージの継承』藤木庸介ほか（学芸出版社）、『観光による地域社会の再生 ―オープン・プラットフォームの形成に向けて―』森重昌之（現代図書）

■**成績評価基準と方法**：3分の1を超えて欠席すると単位が出ません。評価は授業やグループディスカッションへの参加状況（受講態度を含めます）40%、課題30%、プレゼンテーション30%等により、総合的に判断します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	◎		◎	積極的な姿勢	40
発表	○	◎		課題提出物の充実度	30
作品		○	◎	プレゼン能力と発表内容	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：『都市計画論』、『地場産業振興論』

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業計画は前後する事があります。オリエンテーションにて詳細なスケジュールを配付します。